



ロータリーは機会の扉を開く

国際ロータリー 第 2500 地区 第 3 分区

## Asahikawa Morning Rotary Club

2020～21 年度 第 1270 回 例会報告

例会日：2020 年 12 月 17 日（木） 時間：7:30～8:30

例会場： ZOOM リモート例会

2500 地区ガバナー

ランクアップをしよう

松田 英郎（富良野）

RI会長：

ホルガー・クナーク（ドイツ）

クラブ活動方針『未来に紡ぐ』クラブ会長：木村 和哉・幹事 坂本 信一



会長挨拶 木村和哉

おはようございます！

本日で 2020 年の最後の例会となります。今年度 7 月からはコロナの影響が大きく活動も制限される中、各委員長にご尽力いただき少しでも活動できたことは、振り返ってみると大変良かったと思っております。

このあと前期の振り返りを五大委員長に発表していただきます。よろしくお願い申し上げます。「コロナの中であってもロータリーを止めない」との目標のもと今後も続けてまいりたいと思っております。改めまして 2020 年にご協力いただきましてありがとうございました。本日もよろしくお願いいたします。



会務報告 幹事 坂本信一

1. 国際ロータリー第 2500 地区 松田ガバナーより、

『2020～2021 年度ガバナーノミニー・デジグネットについてのお知らせ』收受。

2023～2024 年度ガバナー予定者【氏名】鶴見 誠一郎 会員（紋別港 RC）

【生年月日】1974 年 6 月 27 日生【勤務先】ハッピーサービス(株)代表取締役

\* 異議のある場合は、12 月 23 日までに書面をもってお申立て下さい。

2. 竹内 遵 第3分区ガバナー補佐より、『2021～2022 年度 第3分区ガバナー補佐決定のお知らせ』 收受。

【氏名】竹内 一秋 会員（美瑛ロータリークラブ） 【生年月日】1965 年 5 月 29 日

【勤務先】(有) 竹内山林緑化農園 代表取締役

\* クラブ協議会 （前期活動を振り返り） 五大委員長

クラブ管理運営委員会 井上雄樹委員長



2020～21 年度上半期の振り返り

本年度上半期の例会は、新型コロナウイルスの対策のために色々なことができませんでした。もっとも、活動が制約された中でもモーニングロータリーは他のクラブにないズーム例会を併用するという方法で、会員が顔を合わせる機会を作れたことは良かったと思います。ズーム例会の実現については木村会長と坂本幹事が尽力されました。当初はコロナも早期に収束するのではないかと楽観的な見方もしていましたが、ここに来て旭川市内もクラスターが発生するなど予断を許さない状態が続き、感染対策を怠ることができないことを改めて認識しました。下半期の活動も制約が多くなると思いますが、できる限り会員が交流できるような例会運営をしていければと思います。



会員組織委員会 宮永憲一委員長

皆さま、おはようございます。

今年度がスタートしまして早くも半年が過ぎ今日で前期が終わります。

木村会長のテーマ『未来へ紡ぐ』と題され、元気で活気のある楽しい例会を心がけ 5 年後にどのようにクラブとしてランクアップできるか全会員が楽しみながら未来へ紡ぐ一年にしたいと言われました。

木村・坂本年度を見ていますと、このコロナ禍での例会方法を他クラブにはできない Zoom リモート例会へとし新たな

例会方法を飯塚会場監督との連携で見事に作り上げました。これは大きくクラブがランクアップされたことと思います。今後、下期の活躍を更にご期待申し上げます。

会員組織委員会の前期に関しては、11月19日の石川研修委員長より『時代の流れに大きく変化しようとしています、今後のロータリークラブの活動の変化に対応していきましょう』と、研修していただき、その後、嵯城会員より Zoom で新型コロナウイルスの特徴や感染予防対策について説明いただきより深く新型コロナウイルスの怖さを改めて確認しました。後期は3月に会員研修がプログラムされていますので多くの方の御参加お願い致します。

会員増強委員会に関しましては、今後も大久保委員長と共に情報を共有しながらクラブ活動の基盤に必要な会員の増強に努めてまいります。今後ご協力いただけますようお願い申し上げます。以上、会員組織委員会でした。

#### 広報 IT 委員会 河崎高麗男委員長



皆さんおはようございます。広報 IT 委員会の役割は、クラブの奉仕活動などを効果的に広報や会報などでクラブの公共イメージの向上を目指すことにあり、ロータリーの使命遂行に重要であるという認識を持って、ロータリーを地域一般の人々に紹介し、ロータリークラブへの理解と信頼できる組織であることを地域社会への認知度を深める事が必要と考え、RI の方針に沿って 5 つの目標を立てさせて頂きました。

#### 1. ホームページの運営システムを確立し、地域社会への情報発信源とする。

◎ 昨年度ホームページはリニューアルされましたので内容を充実していきたいと思っています。地域社会に旭川モーニングの活動を PR 出来るようにして行くべく、我がクラブの社会奉仕活動の歴史欄を計画しています。社会奉仕を行った歴代の会長さんに原稿を依頼してありますので、クラブの歴史を紐解くページにしたいと思っています。

#### 2. クラブ活動情報(会報)を地域及び一般社会に発信する。

◎ ホームページ活用して、地域の皆さんにクラブの奉仕プロジェクトや会報を通じて AMRC の活動を発信し理解して頂く役割を果たしていると思います。ただ、現在のホームページを見ているとロータリーでの奉仕活動をしているメンバーが地域の人々には解らない様な状態になっている。職業をもって奉仕するメンバーは堂々と奉仕を出来ないように思いますが皆さん如何なものでしょうか。

#### 3. クラブ会員へロータリー友の情報発信、活動の円滑化を図り、地域社会へのロータリークラブの奉仕活動を広報する

- ◎ “ロータリーの友”を会報の空きページを活用して“ロータリーの友”を是非読んで頂きたい記事のタイトルを毎月掲載しています。“ロータリーの友”を読むことでロータリーを理解することが出来ます。ロータリアンの義務です。
- ◎ ロータリーの友贈呈プロジェクト、旭川市の中央図書館に“ロータリーの友”を毎月 5 冊寄贈してロータリー活動を市民の皆さんへ広報させて頂いております。

#### 4. 広報モニュメント修復プロジェクト、老朽化した千鳥ヶ池をきれいにしようと全市民に呼び掛ける(水と衛生)広報モニュメントを修復し市民へのロータリークラブの活動の公共性イメージ向上につなげていく。

◎ 10月25日老朽化した広報モニュメントを、新しく“とどげよう 綺麗な地球を 未来まで 千鳥ヶ池の清き水辺”とリニューアルし全市民に呼び掛ける広報モニュメントを修復して、旭川市に寄贈させて頂きました。

旭川市長より感謝状を頂戴致しました。また、このセレモニーの後に計画しておりました常磐公園のゴミ拾い風雨にて落ち葉が埋め尽くし中止となりましたが龍馬の会青年部が当クラブの活動を支援して頂きました。雨の中出席頂いた皆様大変ありがとうございました。この活動が北海道新聞、北海道経済、グラフ旭川などに掲載広報されました。

お陰様で広報モニュメント修復プロジェクト多くの皆様方のご協力で無事完成いたしました事御礼申し上げます。

#### 5. ロータリーショウケース・ロータリーボイス・ラーニングセンターなどの利用推進を図る。

◎これは、RI が掲げる「ロータリー活性化」の取り組みで、しかも分かりやすく伝えることを目的としてロータリーを理解するための IT 活用のクラブ支援プログラムです。改めて指摘するまでもなく、RI からの情報はほとんどが「My ROTARY」経由となっています。様々な奉仕活動や資料、ロゴ、テンプレートやラーニングセンターでの研修などが利用可能です。この機会に是非、ロータリーとは何と、ぜひ活用ください。国際ロータリーのクラブ支援はすべて IT 活用となっています。そして 2017 年度にさらにグレードアップされ使い易くなって提供されています。My Rotary 通してクラブセントラルに、クラブ役員や事務局員がクラブの年間計画目標と達成状況を変更・更新する事により、会員が My Rotary を通してクラブセントラルのクラブ目標・進捗状況が閲覧でき一目でクラブの活動状況が理解出来るようにするためのものですね。また、クラブのリーダーが毎年変わる中で、目標とその達成状況が記録されていることで、引き継ぎ

をよりスムーズに行うことができるクラブ運営に欠かせないツールです。我が広報IT委員会、前期の活動は、お陰様で目標に対し順調に推移していることを報告し終わります。

### ロータリー財団・米山推進委員会 竹村陽子委員長



ロータリー財団・米山推進委員会担当委員長の竹村です。

ロータリー財団伊藤吉洋委員長、米山記念奨学会安井裕子委員長とともに活動しております。

ロータリー財団の正式名称は、国際ロータリーのロータリー財団です。

使命は、世界で健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することです。これらを解決することで世界理解、親善、そして平和を達成できると考え、

信じ日々頑張っています。ロータリー財団を支えているのは、皆様からの善意の寄付、年次寄付と恒久基金です。

年次寄付として、今年度は ①収支予算書中で会員1人年間 2000 円 ②ガバナー公式訪問時にポリオへの指定寄付として計 27000 円 ③11月の月間寄付で 348000 円以上を送金しています。

寄付金はすべて管理され恒久基金として元本永久に貯蓄され、運用益だけで財団プログラムは遂行されています。

例 国際親善奨学生の派遣・受け入れ等(タイ国のアイちゃん・GSE(研究グループ交換)木村会長・竹村・他 2名でタイ国へ1ヶ月間派遣)また財団寄付への感謝の気持ちとしてポール・ハリス・フェロー、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、アーチ・クランフ・ソサエテエ等レベル毎に襟ピンに宝石を入れた金バッチが用意されています。

ロータリー財団へのご寄付は、人道的教育的プログラムに十分に生かされています。

モーニング RC には、数年来の継続事業「飢餓・病気・ストリートチルドレンのために」で DDF やグローバル補助金の活用をし、タイランド・インドネシアの救済奉仕活動に役立ててきました。

私達は、身近に十二分にその恩恵に預かってきた訳です。

遠い世界のことでなく私達の周りにも、いまだいろいろな意味での貧困と戦っている人達、子供達がいます。

ぜひ目を背けずにロータリー財団を活用し、せっかくロータリーの縁に結ばれた私達の手で、より良い社会の構築ができればと思っています。ぜひ皆様のお力添えをお願いいたします。

また米山記念奨学会につきましては、時間の都合もあり、寄付金の送金内容のご報告をもって割愛させていただきます。普通寄付 上期 1000 円×22名 計 22,000 円 下期 1000 円×22名 計 22,000 円 (2021年1月に送金予定) 個人寄付 計 220,000 円 以上ご報告いたします。ありがとうございました。

### 奉仕プロジェクト委員会 武田昭宏委員長



奉仕プロジェクト委員会は四つの委員会により構成されています。

**1)職業奉仕委員会 朝倉委員長** 2020年10月1日(木) 職場訪問移動例会を旭川市総合防災センターにて、午前 10:30～行われ初めに朝倉委員長挨拶があり……旭川市消防本部藤原次長様より 消防センター概況と役割の報告有り、本部概況. 予算. 組織. 消防車両, 水利. 火災救急. 予防などの説明を受ける。防災センターは防災公園の機能を持つ東光スポーツ公園の中にあり

火災や救急等のほか、地震等の大規模な災害時に対応する機能を備えています。

又、供水等の災害時に対応する国の河川防災ステーション機能を併せ持っており、市内やその近郊における様々な災害策の活動拠点としての役割も果たしています。

**施設見学** 消防防災指令センター. 防災課. 災害対策室. 指令課. (通報した時点で消防職員は動いていない平均7分で到着できるシステムで行動している) 昔の消防器具(消防車)昔は布バケツに水を入れ、ポンプ式消防荷台で消火していたが、現在は車のエンジンを利用し、消火活動している。

災害対策備品コーナーは体育館の中にありました。四角い引き出しのようなものはベッドになっており 20人以上寝泊りできます。また資材、災害時の必要物質なども体育館から直接車に運べる入り口が複数ありました。

**2)社会奉仕 宮永委員長** 1. 広報モニュメント修復プロジェクト. 常磐公園内千鳥ヶ池の水質保全を訴えるパネル改修旭川市に寄贈する(広報IT委員会と合同事業)で協力する。 2. いのちの電話への支援協賛する 3. ごみのポイ捨て運動禁止運動への参加(2021年度春実施) 4. ボランティア塗装への参加(コロナの状況を見ながら)

**3)青少年奉仕 竹村陽一委員長** 1. 今年度の目標として他クラブ青少年奉仕委員会との交流を図り青少年奉仕活動の情報収集とその提供に努め当クラブの青少年委員会のあり方を模索する1年にしたいと考えていますがコロナ開

題で身動きができず何らかの方法で情報等を取って参考とすべく動きが今後有ることを期待して下さい。

2. 第 40 回ライラセミナーへの協力・・・コロナ発生による中止 3. 青少年奉仕月間に国内における奉仕活動の紹介・・・ 2021 (R-3) 年 5 月 20 日 青少年、竹村委員長のスピーチにて有りますのでご期待ください

4) 国際奉仕委員会 竹澤委員長 世界には学校に通っていない児童が 5800 万人、読み書きができない成人が 7 億 8100 万人います。

今月は基本的教育と識字率向上月間です。ロータリーの基本的教育と識字力は貧困問題や保健上の課題に取り組むために必要となり、争いのない世界を実現するには欠かすことのできない要素となります。今後も状況を改善していくためにさらなる支援が必要となります。海外での教育支援に関する奉仕活動をご紹介しますと、タイのミャンマーとの国境に近い険しい山岳地帯チェンマイ市内から 6 時間以上の場所にロータリーの支援により教育環境は大きく改善され、施設などのハード面だけでなく教育方法や衛生面などのソフト面でも大きく改善できました。

教育長は挨拶の最後に「この村は電気もなく、子供たちは一生テレビやパソコンを見ることがないと思っていました。今回皆さんのおかげで、DVDやパソコンで最新のタイ語の教育を受けられるようになり、衛生面に改善され図書などの備品も整えられ、まるで夢のようです。」と感謝の言葉で締めくくられました。

帰り際、子供たちは、小走りに入り口に殺到し私たちの姿が小さく見えなくなるまで手を振りながら見送ってくれました。私たちはロータリーの奉仕のすばらしさをあらためて実感しました。

旭川モーニングRCも「水と衛生」プロジェクトでミャンマーとの国境に近い、カンチャナブリーの山奥に 13 の小学校に水の浄化装置を設置して感謝と歓迎を受け国際ロータリーのプロジェクトのすばらしさを実感して来ました(参加者 4 名)

広報 IT 委員会より

「ボイス」を使ってロータリーの魅力を伝えよ

『ロータリーは、200 以上の国と地域に 34,558 のクラブがあり、会員数は 1,220,115 人』…….

これまで私たちは頻繁に、数字を使ってロータリーを説明してきました。数字も重要な情報ですが、ロータリーの全体像の一部にすぎません。数字では伝えきれない、ロータリーのもっと大切な“エッセンス”があります。つまり、ほかのグループや団体にはない、ロータリーならではの特徴、そして人びとがロータリーに参加する理由をうまく伝える必要があります。世界各地のロータリー会員に、「あなたがロータリーで熱心に活動する理由は？」と問いかけたところ、次の 3 つに集約される答えが返ってきました。

- ① リーダーのネットワーク:ロータリーは、世界のさまざまな国や職業のリーダーのネットワークです。
- ② アイデアを広げる:ロータリーは、多様な会員のアイデアや職業の専門知識を生かして、地域社会のニーズや問題に取り組めます。
- ③ 行動する:ロータリーは、世界中の地域社会を長期的に改善するために行動します。

この 3 点は、ロータリーへの入会理由上位 2 つ(「友情と親睦」「地域社会に貢献したい」)にもつながるものです。こうしたロータリーの魅力を伝える、その新しい表現方法が「ボイス」です。

会員自らがロータリーの魅力を語ることで、友人や家族がそれに共感し、ボランティアとなって力を貸してくれたり、入会に関心を持つようになります。

「ロータリーとは何ですか？」と聞かれたら、明確に、わかりやすく説明できることが大切です。例えば、「ロータリーを通じて、社会貢献に関心のある人たちと知り合い、一緒に活動し、世界中に友人や恩師となる人ができました」という答え方もあるでしょう。尋ねられたら迷わず答えられるよう。以下のリソースを参考に、それぞれが自分なりの紹介方法を用意しておくことをお勧めいたします。 ・リンクインの討論グループ (表現方法のアイデアを得るために)

・動画「ロータリーとは？」 ・ロータリーの新しい「ボイス」についてのコース ・「ボイス」を実践するためのワークシート

\* 旭川モーニングRC 出席報告 \*

出席報告する小柳裕子例会運営委員長

\* 本日の出席 第 1270 回 例会 総員 22 名 出席 20 名 出席率 91.91%

\* 修正出席 第 1268 回 例会 総員 22 名 11 月 19 日分 出席 20 名 出席率 91.91%

\* ビジター ありません \* ゲスト ありません

\* メークアップ 12/11 飛弾野正幸(旭川RC) 12/17 飛弾野正幸(旭川東北RC)



会報編集

広報 IT 委員会

\*河崎 高麗男 ・朝倉 直博 ・伊藤 吉洋 ・宮永 憲一